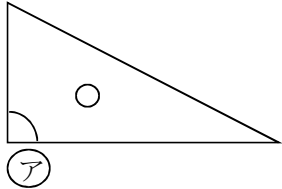


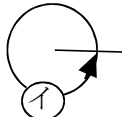
小学校第4学年 単元別確認テスト 1

単元名 [角とその大きさ (啓林館)] [角の大きさ (東京書籍)]	①~③ ( / 3) 知識・理解	④~⑦ ( / 4) 技能	⑧~⑩ ( / 3) 考え方	得点 ( / 10)
4年 ( )組 ( )番 名前 ( )				

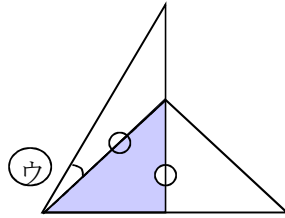
○ 次の図の角の大きさはそれぞれ何度でしょう。(①③は三角じょうぎ)



① アの角度



② イの角度

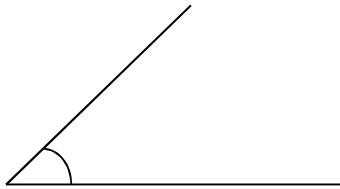


③ ウの角度

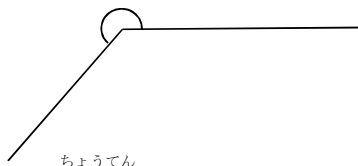
[①~③ 知識・理解]

○ 分度器を使って角度をはかりましょう。

④

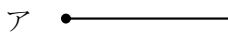



⑤

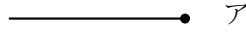



○ 点アを頂点として、次の大きさの角をかきましょう。

⑥ 130°



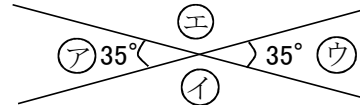
⑦ 320°



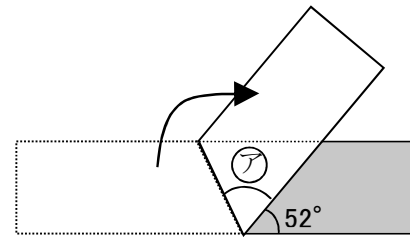
[④~⑦ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

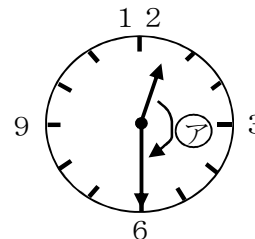
⑧ アの角とウの角は、同じ大きさです。イの角とエの角も、同じ大きさになります。このわけをかきましょう。




⑨ 紙テープを下図のように折りました。アの角は何度でしょう。




⑩ 時計の針が12時30分を指しています。短い針と長い針の間の角度(アの角)は何度でしょう。また、その角度の求め方もかきましょう。



[アの角]

[求め方]

[⑧~⑩ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト1 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		〔1 角とその大きさ（啓林館 P6～P17）〕〔2 角の大きさ（東京書籍 P20～P37）〕							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(2)角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさの測定ができるようにする。 ア 角の大きさを回転の大きさとしてとらえること。 イ 角の大きさの単位（度（°））について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	三角定規の1直角の大きさを理解している。	90度（90°）			○		○		90%
②	回転角としての4直角の大きさを理解している。	360度（360°）			○		○		90%
③	三角定規を組み合わせてできる角の大きさを理解している。	15度（15°）			○		○		80%
④	鋭角の大きさを測ることができる。	45度（45°）		○			○		90%
⑤	180度より大きい角の大きさを測ることができる。	230度（230°）		○			○		90%
⑥	決められた大きさの角をかくことができる。	省略		○				○	90%
⑦	決められた大きさの角をかくことができる。	省略		○				○	80%
⑧	2直線が交わってできる補角の性質を使って、向かい合った角が等しいことを説明することができる。	半回転の角（直線）は180度だから、①の角は、180度から②（③）の角の35度を引いて145度。④の角も同じように、180度から35度を引いて145度になる。だから、①の角と④の角は同じ大きさ。 （計算式での説明も可。）	○					○	70%
⑨	半回転角が180度であることを使って、問われている角の大きさを導くことができる。	64度（64°）	○				○		70%
⑩	回転角は360度で、時計の時刻はそれを12等分していることを使って、問われている角度の求め方を考えることができる。	〔⑦の角〕：165度（165°） 〔求め方〕 1時間で動く短針の角度は、 $360 \div 12 = 30$ 度。12時から12時30分までに長針は180度動く。短針は、1時間の半分動くから $30 \div 2 = 15$ 度。180度から15度を引くと165度。 【別解】1時から6時までは、長針が $30 \times 5 = 150$ 度。12時と1時のちょうどまん中に短針があるので $30 \div 2 = 15$ 度。 $150 + 15 = 165$ 度。 （計算式での説明も可。）	○					○	70%
合 計 10 問			3	4	3	0	6	4	82%

小学校第4学年 単元別確認テスト2

単元名 [1けたでわるわり算の筆算 (啓林館)]	[わり算の筆算 (1) (東京書籍)]	①② ( / 2)	③~⑥ ( / 4)	⑦~⑨ ( / 3)	得点 ( / 9)
4年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )		知識・理解	技能	考え方	

○ ( ) にあてはまることばをかきましょう。

①

$6 \overline{) 324}$        $324 \div 6$  の商は ( ) の位からたちます。

○ 正しい式を (ア) ~ (ウ) からえらびましょう。

②  $59 \div 3 = 19$  あまり 2      この答えをたしかめる式は  です。

(ア)  $3 \times 19 \times 2$

(イ)  $3 \times 19 + 2$

(ウ)  $3 + 19 + 2$

[①② 知識・理解]

○ 次の計算を筆算でしましょう。

③  $400 \div 4 =$

③

④

④  $98 \div 7 =$

⑤  $255 \div 6 =$

⑤

⑥

⑥  $624 \div 3 =$

[③~⑥ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑦ 60ぴきのメダカを8ひきずつ水そうに分けて入れます。いくつ水そうを用意すればよいでしょう。ただし、メダカはすべて水そうに入れます。

式

答え

⑧ , , , , , , , ,  のカードがあります。

次のわり算の筆算で、 がどのような数のとき、あまりが1になるでしょう。

にあてはまる数字カードをすべてえらび、かきましょう。

$6 \overline{) 43 \square}$

⑨ 「 $51 \div 6 = 8 \dots 3$ 」になるわり算の文章問題を作りましょう。

[⑦~⑨ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト2 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔2 1けたでわるわり算の筆算（啓林館 P20～P33）〕		〔3 わり算の筆算（1）（東京書籍 P38～P58）〕					
〈学習指導要領〉		(3) 整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。							
A 数と計算		ア 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算の仕方を考え、それらの計算が基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 イ 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ウ 除法について、被除数、除数、商及びあまりの間の関係を調べ、次の式にまとめること。 (被除数) = (除数) × (商) + (余り) エ 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	商がどの位にたつかを理解している。	+			○		○		90%
②	(2位数) ÷ (1位数) の答えの確かめの仕方を理解している。	(イ)			○	○			90%
③	(何百) ÷ (1位数) の計算で、100を単位とすることで、(1位数) ÷ (1位数) と同じように計算をすることができる。	100		○			○		90%
④	繰り下がりのある(2位数) ÷ (1位数) の計算をすることができる。	14		○			○		90%
⑤	(3位数) ÷ (1位数) の計算で、あまりのある計算をすることができる。	42あまり3		○			○		90%
⑥	(3位数) ÷ (1位数) の計算で、商に空位のある計算をすることができる。	208		○			○		90%
⑦	等分除の問題を読み取り、式をたて商を考えることができる。	60 ÷ 8 = 7あまり4 水そう8個用意	○				○		80%
⑧	(3位数) ÷ (1位数) の計算で、余りを1にするために一の位に当てはまる数字を考えることができる。	3, 9	○				○		75%
⑨	問いの条件に合う除法の問題を考えることができる。	(例) 51枚の色紙があります。一人に6枚ずつ分けると、何人に分けることができ、色紙は何枚余るでしょう。など	○					○	70%
合 計 9 問			3	4	2	2	6	1	85%

小学校第4学年 単元別確認テスト③

単元名 [折れ線グラフ (啓林館)] [折れ線グラフと表 (東京書籍)]	① ( / 1) 知識・理解	②~④ ( / 3) 技能	⑤~⑧ ( / 4) 考え方	得点 ( / 8)
4年 ( )組 ( )番 名前 ( )				

○ 次の問いに答えましょう。

① 次の(ア)～(エ)のうちで、折れ線グラフに表すとよいものを2つえらび、答えましょう。

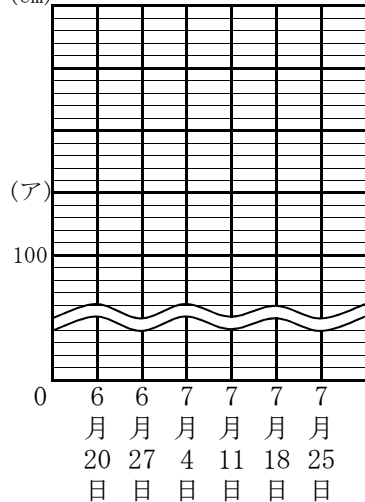
- (ア) クラスで調べた「一番すきなくだもの」について的人数
- (イ) 毎年4月に調べた自分の身長
- (ウ) 毎日午前8時にはかったプールの水温
- (エ) 4月に調べたクラスの人の身長

[① 知識・理解]

○ けんじさんは、アサガオのつるの長さを1週間ごとに調べて表にまとめました。

月 日	6月20日	6月27日	7月4日	7月11日	7月18日	7月25日
長さ(cm)	102	110	118	128	134	138

(cm) アサガオのつるの長さ



② (ア)は、何cmにすればよいでしょう。

③ 上の表をグラフにしましょう。

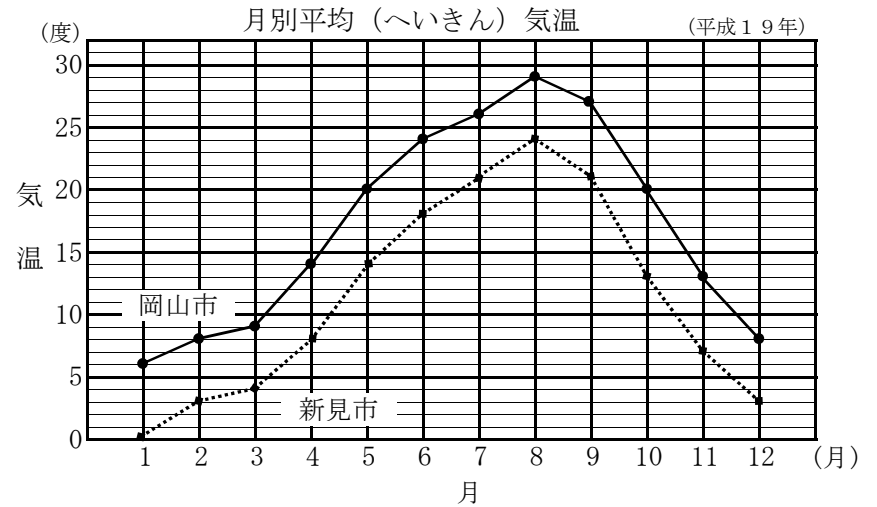
④ グラフから、変わり方が一番大きいのはいつからいつの間といえるでしょう。

 月  日から  月  日

[②~④ 技能]

⑤ ④で答えたわけをかきましょう。

○ 下のグラフは、岡山市と新見(にいみ)市の1年間の月別平均気温の変わり方を表したグラフです。グラフを見て、次の問いに答えましょう。



⑥ 岡山市の11月の気温と新見市の4月の気温では、どちらの市がどれだけ高いでしょう。

⑦ 気温の変わり方が一番大きいのは、どちらの市の何月から何月の間ででしょう。

⑧ 岡山市と新見市の気温をくらべて、気がついたことをかきましょう。

[⑤~⑧ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト3 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔3 折れ線グラフ(啓林館 P42~P50)〕〔1 折れ線グラフと表(東京書籍 P6~P13, P17)〕							
〈学習指導要領〉		(1) 伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすることができるようにする。 ア 変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり, 変化の特徴を読み取ったりすること。							
D 数量関係		(3) 目的に応じて資料を集めて分類整理し, 表やグラフを用いて分かりやすく表したり, 特徴を調べたりすることができるようにする。 ア 資料を二つの観点から分類整理して特徴を調べること。 イ 折れ線グラフの読み方やかき方について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	折れ線グラフで表すことに適した事象を理解している。	(イ) (ウ)			○	○			90%
②	資料に合わせて折れ線グラフの目もりを適切にとることができる。	110		○			○		90%
③	資料に合わせた折れ線グラフをかくことができる。	省略 ※②が正解の場合のみ, ③の正解が成立。		○			○		90%
④	折れ線グラフの傾きから変化の特徴をよみとることができる。	7月4日から7月11日の間		○			○		80%
⑤	折れ線グラフの傾きに着目して数量の変化の特徴をとらえている。	線のかたむきが急だから。 (数値をもとに, つるの長さの差が大きいからと答えている場合も可。)	○					○	70%
⑥	折れ線グラフから対応する2つの値をよみとり, その差をとらえることができる。	岡山市の11月が5度高い。	○				○		80%
⑦	折れ線グラフの傾きに着目して数量の変化の特徴をとらえている。	新見市の9月から10月の間	○				○		80%
⑧	折れ線グラフから統計的な特徴や傾向を考えることができる。	・岡山市の6月と新見市の8月は平均気温が同じ。 (岡山市と新見市の定点での比較ではなく, 横断的な視点で比較していることが望ましい。) ・岡山市と新見市はほぼ5度ずつの差で同じように変化している。	○					○	70%
合 計 8 問			4	3	1	1	5	2	81%

小学校第4学年 単元別確認テスト4

単元名 [一億をこえる数 (啓林館)] [大きい数のしくみ (東京書籍)]	①~③ ( / 3) 知識・理解	④~⑥ ( / 3) 技能	⑦~⑨ ( / 3) 考え方	得点 ( / 9)
4年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )				

- 次の数は、地球から北極星までのきよりです。 ☆ ☆ ☆

4 0 6 8 1 4 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 km

- ① 6は、何の位の数字でしょう。

- 次の数を数字でかきましよう。
- ② 1兆を205こと、1億を60こあわせた数

- (ア) と (イ) のどちらが大きいでしょう。大きい数に○をかきましよう。
- ③ (ア) 98960000 (イ) 350000000  
( ) ( )

[①~③ 知識・理解]

- 次の数をかきましよう。
- ④ 3兆2000億を10倍した数

- ⑤ 1800万を1万倍した数

- ⑥ 5兆を10でわった数

[④~⑥ 技能]

- 0から9までの数字のカードを1回ずつ使って、10けたの整数をつくりましよう。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

- ⑦ いちばん小さい数をかきましよう。
- 

- ⑧ 55億にいちばん近い数をかきましよう。
- 

- 次の問題に答えましよう。
- ⑨ 下の (ア) の答えを、 $46 \times 14 = 644$  を使って求めましよう。また、求め方を式やことばを使って説明しましよう。

(ア)  $46000 \times 140 =$

[求め方]

[⑦~⑨ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト4 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔4 一億をこえる数(啓林館P52~P61)〕〔5 大きい数のしくみ(東京書籍P88~P98)〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) 整数が十進位取り記数法によって表されていることについての理解を深める。 ア 億, 兆の単位について知り, 十進位取り記数法についてまとめること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	大きな数の位取りを理解している。	十兆の位			○		○	90%	
②	大きな数の構成を理解している。	205 0060 0000 0000			○		○	90%	
③	十進位取り記数法によって大きな数の大小を比較することができることを理解している。	(イ)			○	○		90%	
④	大きな数を10倍した数で表すことができる。	32兆		○			○	90%	
⑤	大きな数を1万倍し, 位を4つ上げた数で表すことができる。	1800億		○			○	80%	
⑥	大きな数を10でわった数で表すことができる。	5000億		○			○	80%	
⑦	10けたのいちばん小さい数を考えることができる。	10 2345 6789	○				○	70%	
⑧	55億をもとにして, 10けたの指定された数を考えることができる。	54 9876 3210	○				○	70%	
⑨	46×14の計算をもとに, 乗数や被乗数の末尾に0がついたかけ算の計算の仕方を考えることができる。	[答え] 46000×14=6440000 [求め方] 46000は46の1000倍, 140は14の10倍 1000倍の10倍は10000倍 だから, 46000×140は46×14の10000倍 644の10000倍で答えは6440000	○				○	70%	
合 計 9 問			3	3	3	1	7	1	81%



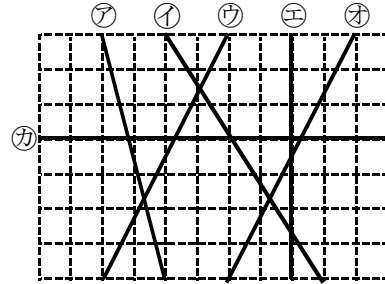
小学校第4学年 単元別確認テスト 5

単元名 [垂直・平行と四角形 (啓林館)] [垂直・平行と四角形 (東京書籍)]	①~③ ( / 3) 知識・理解	④~⑥ ( / 3) 技能	⑦~⑨ ( / 3) 考え方	得点 ( / 9)
4年 ( )組 ( )番 名前 ( )				

○ 右の図を見て、問いに答えましょう。

① 直線㉓に平行な直線はどれでしょう。

② 直線㉓に垂直な直線はどれでしょう。

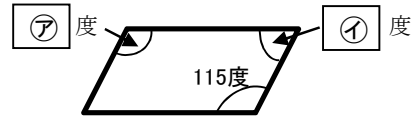


○ 次の問いに答えましょう。

③ 右の平行四辺形の□にあてはまる数をかきましよう。

㉑       ㉒

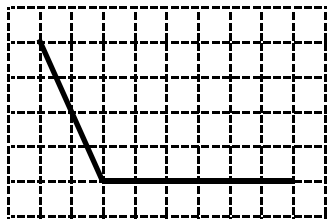
じょうぎ



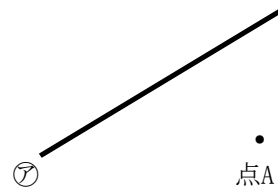
[①~③ 知識・理解]

○ 1組の三角定規やコンパスを使って、次の四角形や直線をかきましよう。

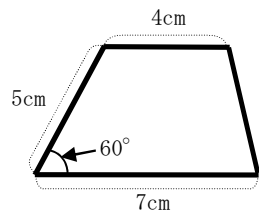
④ 平行四辺形を完成させましよう。



⑤ 点Aを通過して直線㉓に垂直な直線をかきましよう。



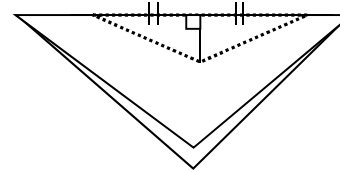
⑥ 次のような台形を、このテストのうらにかきましよう。



[④~⑥ 技能]

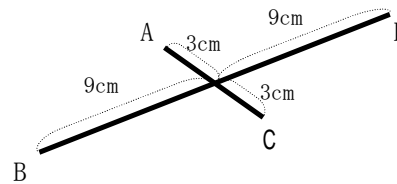
○ 次の問いに答えましよう。

⑦ 色紙を右の図のように折って点線のところで切り取って広げると、どのような形ができるでしょう。




⑧ ⑦のように答えたわけをかきましよう。

⑨ 次のように交わる2つの直線があります。A, B, C, Dの順につなぐと、どのような四角形ができるでしょう。また、そのわけも答えましよう。



(四角形の名前)

(わけ)

[⑦~⑨ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト5 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔5 垂直・平行と四角形（啓林館 P62～P79）〕		〔4 垂直・平行と四角形（東京書籍 P60～P83）〕					
〈学習指導要領〉 C 図形		(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して, 図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し, 図形についての理解を深める。 ア 直線の平行や垂直の関係について理解すること。 イ 平行四辺形, ひし形, 台形について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	方眼紙上で, 2つの直線の平行な関係を理解している。	ウ			○	○			90%
②	方眼紙上で, 2つの直線の垂直な関係を理解している。	エ			○	○			90%
③	平行四辺形の角の相等関係を理解している。	ア 115度 イ 65度			○		○		80%
④	平行四辺形の辺の相等関係をもとに正しく作図することができる。	(省略)		○				○	90%
⑤	垂直な直線を正しくかくことができる。	(省略)		○				○	90%
⑥	台形を正しく作図することができる。	(省略)		○				○	90%
⑦	いろいろな四角形の中から, 問題に合う性質をもつものとして, ひし形を見出すことができる。	ひし形	○				○		90%
⑧	ひし形と答えた根拠として, 対角線の特徴をもとに説明することができる。	2つの対角線が, それぞれのまん中の点で垂直に交わっているから。 ※⑦が正解の場合のみ, ⑧の正解が成立。	○					○	70%
⑨	いろいろな四角形の中から, 問題に合う性質をもつものとして, 平行四辺形を見出し, その根拠である対角線の特徴を説明することができる。	(四角形の名前) 平行四辺形 (わけ) ・ 2つの対角線が, それぞれのまん中の点で交わっているから。	○					○	75%
合 計 9 問			3	3	3	2	2	5	85%

小学校第4学年 単元別確認テスト6

単元名 [小数 (啓林館)] [小数のしくみ (東京書籍)]	①~③ ( / 3) 知識・理解	④~⑦ ( / 4) 技能	⑧⑨ ( / 2) 考え方	得点 ( / 9)
4年 ( )組 ( )番 名前 ( )				

○ ( ) にあてはまる数をかきましょう。

① 2.7は、1を( ) こと、0.1を( ) こあわせた数です。

② 0.1を23こ集めた数は、( ) です。

③ 5.1は、6より( ) 小さい数です。

[①~③ 知識・理解]

○ 次の問いに答えましょう。

④ マラソンで走るきよりの42.195 kmは、何mでしょう。

⑤ 20.6を  $\frac{1}{100}$  にした数をかきましょう。

⑥ 4.8を100倍した数をかきましょう。

⑦ 次の数を小さい順に並べ替えましょう。

0.9	9	9.99	0.09	0.99
-----	---	------	------	------

	⇒		⇒		⇒		⇒	
--	---	--	---	--	---	--	---	--

[④~⑦ 技能]

⑧ ある数を10倍するのをまちがえて、 $\frac{1}{10}$  にしてしまったので、

答えが0.634になりました。正しい答えを求めましょう。

⑨ 次のカードのうちの5枚を使ってできる10より大きく100より小さい小数のうち、一番大きな小数と一番小さな小数を答えましょう。

1	2	4	5	7	8	0
---	---	---	---	---	---	---

一番大きい小数

	.			
--	---	--	--	--

一番小さい小数

	.			
--	---	--	--	--

[⑧⑨ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト6 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔6 小数(啓林館 P82~P87)〕〔10 小数のしくみ(東京書籍下 P30~P45)〕							
〈学習指導要領〉		(5) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに, 小数の乗法及び除法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。							
A 数と計算		ア 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに, 数の相対的な大きさについての理解を深めること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	小数の構成的な見方を理解している。	2.7			○		○		90%
②	小数の相対的な見方を理解している。	2.3			○		○		90%
③	小数の大きさについて理解している。	0.9			○		○		90%
④	小数による表記をmとkmの単位の換算に適用できる。	42195m		○			○		90%
⑤	小数の100分の1の大きさの数を作ることができる。	0.206		○			○		80%
⑥	小数の100倍の大きさの数を作ることができる。	480		○			○		80%
⑦	十進位取り記数法をもとに, 小数の大小を弁別することができる。	0.09 → 0.9 → 0.99 → 9 → 9.99		○			○		80%
⑧	10倍, 10分の1による小数点の移動を使って, 答えを考えることができる。	63.4	○				○		80%
⑨	十進位取り記数法をもとに, 条件に合う数字の配置を考えることができる。	大きい数: 87.542 小さい数: 10.245	○				○		80%
合計 9 問			2	4	3	0	9	0	84%

小学校第4学年 単元別確認テスト 7

単元名 [小数 (啓林館)] [小数のしくみ (東京書籍)]	①~③ ( / 3)	④~⑥ ( / 3)	⑦~⑩ ( / 4)	得点 ( / 10)
4年 ( )組 ( )番 名前 ( )	知識・理解	技能	考え方	

○ 不等号を使って、大小を表しましょう。

① 0.239  0.279

② 0.64  0.164

③ 3.634  3.81

[①~③ 知識・理解]

○ 次の計算をしましょう。

④ 10.5 + 2.9

⑤ 7 + 0.4

⑥ 6.8 - 4.8

[④~⑥ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑦ (ア) 27mm と (イ) 3.2cm では、どちらが長いでしょう。  
長い方の記号をかきましょう。

○ 次の問いに答えましょう。

⑧ 水そうに水が47dL入っています。3.6Lの水を入れると、全部で何Lになるでしょう。  
式

答え

⑨ たかしさんが生まれたときの体重は3400gでした。今の体重は24.2kgです。体重は何kgふえたでしょう。  
式

答え

⑩ よしおさんは、 $7.2 + 3$ を次のようにまちがって計算しました。  
正しく直しましょう。

[よしおさんの計算]

$$\begin{array}{r} 7.2 \\ + \quad 3 \\ \hline 7.5 \end{array}$$

[⑦~⑩ 考え方]

小学校第4学年 単元別確認テスト7 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		〔6 小数（啓林館 P88～P90）〕〔10 小数のしくみ（東京書籍下 P30～45）〕							
〈学習指導要領〉		(5) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。							
A 数と計算		ア 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。 イ 小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。 ウ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	小数の大小関係について理解している。	<			○		○		90%
②	小数の大小関係について理解している。	>			○		○		85%
③	小数の大小関係について理解している。	<			○		○		75%
④	小数の加法で繰り上がりのある計算ができる。	13.4		○			○		90%
⑤	整数と小数の加法で位をそろえて計算することができる。	7.4		○			○		90%
⑥	小数の減法で答えが整数になる計算で、答えの小数第1位の0を消すことができる。	2		○			○		85%
⑦	単位の異なる長さの比較をする際に、単位を換算してそろえることを考えることができる。	(イ)	○			○			80%
⑧	単位の異なるかさの加法において、単位をそろえて答えを考えることができる。	47dL=4.7Lだから 4.7+3.6=8.3 8.3L	○				○		80%
⑨	単位の異なるかさの減法において、単位をそろえて答えを考えることができる。	3400g=3.4kgだから 24.2-3.4=20.8 20.8kg	○				○		70%
⑩	小数の加法について計算の仕方の間違いに気づき、正しい計算の仕方を考えることができる。	〔ひっ算〕 7.2 + 3 ——— 10.2  ※たす数3を1の位にかく。	○					○	70%
合 計 10 問			4	3	3	1	8	1	82%